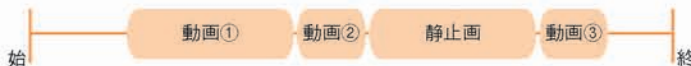


小学校 5年

国語 | 工夫して発信しよう

PC 電子黒板 実物投影機
デジタルカメラ デジタルビデオカメラ

児童生徒実践型



京都府亀岡市立南つつじヶ丘小学校
古谷 美和子
中西 悠香里

実践テーマ

電子黒板を議論・表現のプラットフォームへ
—ニュース原稿をよりよくするための電子黒板活用—

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈展開〉
- ・グループで話し合いながら1つの原稿にまとめる際、希望するグループは電子黒板の近くに集まり、自分たちの作った作品をプレビューしながら原稿の検討を行う。(議論を深める)
 - ・代表グループの放送原稿を実物投影機と電子黒板で映し出し、良かったところに線を引いたり、改善すべきところに改善案を書いたりするなどして、指摘し合う。(課題を共有する)
- 〈まとめ〉 改善された発表原稿で、電子黒板の映像にあわせて原稿を読む。(表現の力を高める)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題「意図をよりよく伝えるにはどのような放送原稿にすればよいか」を確認する。 ・よい放送原稿の書き方を確認する。 	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、各々で書いた原稿を持ち寄り、グループで話し合いながら1つの放送原稿にまとめる。 ・希望するグループには、電子黒板で作成したニュース映像をプレビューする(動画①)。 ・制作途中の放送原稿で、1つのグループの発表をする(動画②・静止画)。 ・原稿の良いところや改善するポイントを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童作成のニュース映像 ●児童作成の放送原稿キャプチャー(静止)画像
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・改善された原稿でもう一度映像に合わせて発表する(動画③)。 ・本時を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童作成のニュース映像



児童作成の映像を見ながら、原稿を吟味



放送原稿の改善点を、書き込みながら提案



電子黒板の映像に合わせて原稿を読む

児童の反応・効果

- ・映像を見ながら話し合うことで、あえて読まない部分を作ることや文字数の制限などに気づいた。
- ・原稿を電子黒板に映すことで、課題が共有でき、一つひとつの「ことば」にこだわる話し合いができた。

活用のポイント

- ・日頃から赤線は良い部分、青線は改善点など、書き込む色にルールを持たせる。(紙に書くときも)
- ・放送原稿のワークシートには場面ごとの写真を小さく印刷して貼っておく。また、出た意見をポイントごとに整理してまとめ、黒板に板書するなどICT以外のメディアとの併用を行う。